

# 霧島市地域公共交通網形成計画推進に係る 事業報告

令和2年3月24日  
霧島市地域公共交通会議

## (1) 地域公共交通のサービス見直し

### ① ふれあいバスのサービス見直し

#### 計画概要 計画 P101

運行ルートの見直しや路線バスとの乗り継ぎ利便性を高めるようなサービスの改善を行う。特定の路線・地区については、利用促進策を実施するとともに、持続的な移動手段の確保に向け、沿線住民の理解・納得のもと、運賃の値上げやデマンド交通の導入など他の移動手段も検討

#### 実績①

地域住民等の要望に応じ次の見直しを実施した。

- 国分ふれあいバス「塚脇線」「平山・塚脇小学校線」の見直し【H31.4.1～】
  - ・塚脇団地内を運行するルートに変更
- 霧島ふれあいバス「市後柄・神乃湯・霧島神宮駅線」の見直し【R1.6.1～】
  - ・路線を廃止し、デマンド交通へ移行
- 国分ふれあいバス「薄木線」の見直し【R1.10.2～】
  - ・要望のあった地域へ迂回するルートに変更し、フリー乗降区間を設定
- 溝辺ふれあいバス「空港崎森線」の見直し【R2.2.3～】
  - ・空港発の路線バスとの接続を図るため、運行時刻を変更

# (1) 地域公共交通のサービス見直し

## ① ふれあいバスのサービス見直し

### 実績②

ふれあいバスの利用者が著しく少ない地域における代替手段の検討を行うにあたり、次のとおり、地域の方々等との意見交換等を実施した。

#### 1 横川地区全体の自治公民館長との意見交換を実施【令和元年7月25日（木）】

⇒利用者の少ない路線については、デマンド交通等への移行を行う目的で実施したが、バス路線の存続を求める声が大きかったため、地域の方の利用についてお願いし、当面の間、現行路線のままとすることとした。

<参考>横川地区ふれあいバス一覧（H30年度 利用者数等実績）

	市支出額	便数	利用者合計	1便当たり利用者数	1人当たりの財政負担額
①正牟田・高木・山ヶ野線	約174万円	279便	1,862人	6.7人	936円
②野坂・横伏敷線	約193万円	276便	281人	1.0人	6,898円
③赤水・馬渡線	約168万円	303便	805人	2.7人	2,093円
④岩穴・二牟礼・溝辺線	約148万円	305便	782人	2.6人	1,898円
⑤小脇線	約45万円	153便	164人	1.1人	2,791円
⑥植村線	約42万円	153便	213人	1.4人	1,973円
⑦山ノ口線	約41万円	152便	98人	0.6人	4,252円
⑧上ノスクール線	約187万円	474便	1,026人	2.2人	1,829円
⑨下ノスクール線	約169万円	479便	4,438人	9.3人	381円

## 2 溝辺ふれあいバス利用者へのアンケート調査を実施【12/23～1/31】

⇒地域地区自治公民館連絡協議会から、溝辺ふれあいバス路線の全面的な見直しを行うよう要望があったため、ふれあいバスの存続やデマンド交通の導入等について、溝辺地区全路線の利用者に対して、アンケート調査を実施した。  
その結果、バス路線の存続を求める声が大きかったため、地区自治公民館長と協議を行い、特に利用者の少ない「空港崎森線」を「溝辺～隼人駅線」と統合する方向で検討することとなった。

＜参考＞溝辺地区ふれあいバス一覧（H30年度 利用者数等実績）

路線名	運行経費 ①	運賃収入 ②	国庫補助 ③	市支出額 (単位：円) ①-②-③	利用者 合計	便数 合計	1便当たりの 利用者数
①麓線	2,660,960	156,297	1,322,500	1,182,163	1,094	306	3.6 (3.8)
②竹子・三縄・横川線	3,444,370	116,777	1,742,500	1,585,093	818	309	2.6 (2.7)
③空港崎森線	2,199,440	87,848	0	2,111,592	618	306	2.0 (1.6)
④溝辺～隼人駅線	2,898,230	160,208	0	2,738,022	1,121	309	3.6 (3.6)
合計	11,203,000	521,130	3,065,000	7,616,870	3,651	1,230	

※1便当たりの利用者数の( )内の数値は、国庫補助金申請時の人数

※空港崎森線については、国の補助要件である1便当たりの利用者数が2.0人以上を上回っていないため、補助金がカットされている。

※溝辺～隼人駅線は他路線との比較のため、片道を0.5便でカウント

# (1) 地域公共交通のサービス見直し

## ② 路線バスのサービス見直し

### 計画概要 計画 P105

#### ➤ 「国分駅」及び新たな霧島市の玄関口となる「隼人駅」を拠点としたバスネットワークの効果的な見直し

市内最大の乗降客数を誇る国分駅と、今後整備が行われ霧島市の新たな玄関口となる「隼人駅」を拠点としたバスネットワークの効果的な見直しを検討する。

なお、見直しについては、利用者の利用目的や収支状況などで路線の色分けを行うとともに、路線の重複状況や利用者の特性などを考慮した上で、運行形態も含めた路線の再編や、需要に応じたサービス水準の見直し、新たな需要の掘り起こしなどを中長期的に進めていく。

### 実績

利用実態調査等を踏まえ、市街地循環バスの見直しを実施した。見直しに当たっては「分かりやすさ」「乗り継ぎのしやすさ」「便利さ・活用しやすさ」を基本コンセプトとした。

【令和元年10月1日運行開始】

	内回り系統	外回り系統
運行日	毎日運行	月～土運行
運行便数	月～土：20便（左回り10便、右回り10便） 日・祝：8便（左回り4便、右回り4便）	月～土：10便（左回り5便、右回り5便） 日・祝：運休
運賃	1回200円の均一運賃とする。 ※分かりやすく、手軽に乗車できる料金体系にすることにより、利用促進を図る。	

# (1) 地域公共交通のサービス見直し

## ② 路線バスのサービス見直し

計画概要 計画 P105

- 丸尾バス停を拠点とした、観光客の観光回遊を促進する周遊バスサービスの導入  
観光周遊に資する路線バスルートの見直しや新たな移動手段の確保など、丸尾バス停を拠点とした観光客の観光回遊を促進する「周遊バスサービス」を検討・実施する。

### 実績

観光客及び近年増加している外国人観光客の受け入れ体制の整備として、路線バスが運休となる土・日・祝日に、主要交通機関から観光地へのアクセスの充実を図るために、山コースと海コースを設定し、実証運行を行った。

- 主な乗入施設  
山コース 日当山西郷どん村、西郷公園、嘉例川駅、塩浸温泉龍馬公園、丸尾（霧島温泉市場）、霧島神話の里公園、霧島神宮  
海コース 鹿児島神宮、日当山西郷どん村、福山黒酢、上野原縄文の森、ハイテク展望台
- 運賃 大人1,100円（小人半額）・霧島「のったりおりたりマイプラン」で乗車可能



## (2) 地域公共交通の利用促進

### ① 公共交通啓発チラシや広報誌等の活用、地域公共交通の利用実態報告の検証

計画概要 計画 P107

公共交通啓発チラシや市の広報誌等を活用し、鉄道やバス等の各種情報などを広く周知していくことで地域公共交通の利用促進を図る。

#### 実績

- 南九州ケーブルテレビネットでふれあいバスの乗り方等の説明を行った。【R1. 6. 17 収録】
  - 南九州ケーブルテレビネットの番組制作協力を行った。【R1. 10. 24 収録】
- ※路線バスで行く霧島の旅



◇番組制作風景  
(丸尾の霧島温泉市場にて)



ふれあいバスは民間の路線バスが走っていない  
主に中山間地域を走る29人乗りのバス



バス停がない場所でもバスが通る道であれば  
手を挙げると乗車することが出来る

◇ケーブルテレビの放映画面 (ふれあいバスの紹介)



## (2) 地域公共交通の利用促進

### ④ 住民座談会等を通じた直接的コミュニケーションによる利用促進活動の実施

計画概要 計画 P109

住民座談会や市が実施する出前講座等を通じて、市民の皆さんと直接コミュニケーションをとり、路線バスやふれあいバスの利用促進に向けた取組を行う。

#### 実績

下表のとおり出前講座を実施し、市民の方々との直接的コミュニケーションをとり、路線バス、ふれあいバス及びデマンド交通の利用促進を図った。

日にち	団体名	開催場所	参加人数
10月9日(水)	民生委員・児童委員協議会(牧園)	牧園総合支所	35人
11月27日(水)	高千穂7区ひまわり会(牧園)	霧島市役所	10人
12月1日(日)	遠見松自治会(霧島)	遠見松公民館	23人
12月7日(土)	溝辺地区自治公民館長会(溝辺)	竹子公民館	22人
2月20日(木)	手をつなぐ育成会連合会(霧島市)	国分総合福祉センター	20人
合 計			110人

## (2) 地域公共交通の利用促進

### ⑤ 公共交通に関する総合的な情報発信・PRの強化

計画概要 計画 P109

地元住民のみならず、観光客をはじめとする交流者に対する公共交通の情報発信・PRの強化を実施する。例えば、「霧島遊めぐりバスマップ」や「霧島『のったりおりたりマイプラン』バス1日乗車券」などの企画運賃などの総合的な情報発信・PRを強化する。

#### 実績①

本市内における観光施設等のホームページにおいて、交通アクセスの記載のないものや、バス時刻表等の案内はあるものの、時刻の更新がなされていないものが散見されたため、各観光施設等に対して、交通アクセス案内の充実や情報の随時更新についての依頼を行った。

なお、宿泊施設等については、霧島市観光協会の協力をいただき周知を行った。



往路 鹿児島空港⇒丸尾⇒

鹿児島空港⇒丸尾 鹿児島空港3番のりば「霧島いわさきホテル」行き

時間	平日	土曜	日曜/祝日
6			
7			
8			
9	40	40	40
10	40	40	40
11	40	40	40
12	40	40	40

更新がなされていない時刻

霧島連山周遊バスの案内はあるものの、丸尾までのアクセスについての記載なし。

更新がなされていない時刻表

## (2) 地域公共交通の利用促進

### ⑤ 公共交通に関する総合的な情報発信・PRの強化

#### 実績②

JR肥薩線は令和元年11月21日で全線開通110周年を迎えたことから、肥薩線のPRを目的とし、平成30年度に実施した「肥薩線フォトコンテスト」の入賞作品の巡回展示を行った。

- 令和元年10月24日～11月11日 横川総合支所ロビーに展示
- 令和元年10月27日 大隅横川駅に展示（大隅横川駅ハッピーハロウィンと同日に展示）
- 令和元年11月10日 嘉例川駅に展示（かれい川山里の恵みと森のおまつりと同日に展示）



■ かれい川山里の恵みと森のおまつり

■ 第6回大隅横川駅ハッピーハロウィン

実施日：11月10日（日）  
場 所：嘉例川駅前広場

実施日：10月27日（日）  
場 所：大隅横川駅前広場

## (2) 地域公共交通の利用促進

### ⑥ モビリティ・マネジメント・プログラムの実施

#### 計画概要 計画 P110

市民が公共交通を利用してみようという意識を地域ぐるみで推進することを目的に、地域住民や市内の学生などを対象としたモビリティ・マネジメント施策を推進し、公共交通の利用促進を図る。

#### 実績

「公共交通の利用促進」「環境にやさしいまちづくり」「CO2排出量削減の意識向上」等を目的にマイカー通勤を控えるよう呼びかける「きりしまエコ通勤ウィーク」を実施した。イベント開催前に広報きりしまやFMきりしまを通じ、公共交通の積極利用等についてのPRを行った。【実施期間 令和2年3月9日（月）～3月19日（木）】

## きりしまエコ通勤<sup>2</sup>ウィーク

CO2削減、渋滞緩和等のため、公共交通を積極的に利用しましょう。  
日頃と違った風景の通勤を楽しんでみませんか？

2020  
3/9-19

公共交通利用で

- ・事故リスクの軽減
- ・健康増進効果
- ・仕事帰りのお酒も！



#### きりしまエコ通勤ウィーク

### 環境、健康のため エコ通勤を

厚生労働省が示す運動効果

#### ■運動による消費カロリー例

体重60kgの人が30分運動した場合

・自転車通勤(16km/時未満) 8km進む→4メッツ→126kcal

・徒歩(67m/分) 2km進む→3メッツ→95kcal

$kcal = \text{メッツ} \times \text{体重kg} \times \text{運動時間h} \times 1.05$

\*メッツは運動によるエネルギー消費量が、安静時の何倍に当たるかを示す値。厚生労働省「健康づくりのための身体活動基準2013」の値を使用。

#### ■食事による摂取カロリー例

スポーツドリンク(500ml) 135kcal、

チョコレート(1/3枚) 100kcal、

おにぎり(1個) 170kcal

\*値は農林水産省「食事バランスガイド」などを参照。

